

## 質 問 回 答

2023 年 3 月 17 日

「(案件名)全世界学校給食・食育に関する情報収集・確認調査(QCBS)(国内業務主体)」

(公示日:2023 年 3 月 1 日/調達管理番号:22a00942)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	ページ 13 (8)学校給食・食育案件の類型化	【類型化にあたっては「学校給食プログラム、職域の栄養・健康増進プログラム関連支援の方向性に係る情報収集・確認調査」P.45 で示す図(図 2-1-4 情報収集分析結果・学校給食実施の状況の 4 分類)の表を参考に作成をする】とありますが、表を参考に”何を”作成するのでしょうか。案件分類一覧のようなものとの理解でよろしいでしょうか。	左記分類表を元に、机上調査の結果等(対象国の経済状況、学校給食・食育の導入状況、過去の JICA 案件、他ドナーの支援状況等)を踏まえ、対象国の状況に応じて想定される学校給食・食育の協力について類型化し、同類型を用い既存事例を図表としてまとめていただくことを想定しています。
2	p.11 (3) 対象年齢層	「保護者も含むこと」とあり、「ジェンダー主流化」に係る特記事項はありませんが、本件業務もジェンダー配慮案件に類するものという認識でよろしいでしょうか。	机上調査をもとに実施していただく、現地調査、パイロット活動においては必要に応じ「JICA 事業における ジェンダー主流化のための 手引き【保健医療】」P.15 等を参考にした対応してください。例えば、保護者へのアプローチをする際、食に関しての意思決定や、食事の準備を行う役割それぞれへのアプローチをすることなどが想定されます。
3	p.13 (6) 現地調査の実施(現地業務) p.14 (11) 食育活動の試行的実施(パイロット活動)	4 か国の現地調査は 1 か国につき 15 日間想定、パイロットプロジェクトは 2 か月間想定で、業務量の目安は現地 4.0 人月とのことですが、団員 1 名のみでの現地渡航にて現地業務を実施想	ご理解のとおり、団員 1 名による現地業務を想定し、想定される現地傭人・通訳等の現地業務に係る費用を定額計上としています。現地業務の渡航回数、活動内容等については定額計上

	p.18 (2) 業務量目途と業務従事者構成案	定で、必要であれば現地傭人・通訳を雇うという認識でよろしいでしょうか。 渡航回数も目途も含め、上記現地業務についてはプロポーザル(別提案を含む)にて提案の余地はありますでしょうか。	の金額内であればご提案可能です。定額計上の金額を超過する場合は別見積・別提案としてください。
4	p.14 (13) マレーシア HCK ガイドライン作成支援(国内作業)	マレーシア国別研修「LEP2.0 給食ガイドライン開発」の実施予定時期はいつごろでしょうか。	未確定ですが、現時点では 9 月から 10 月を想定しています。
5	p.14~ 第 6 条報告書等	(3)現地調査報告書:和文 (4)リーフレット「子どもたちの成長・健康を担う学校給食」の改訂版:和文、英文 (5)学校給食・食育案件形成時に利用可能なチェックリスト等:和文  上記成果品につきまして、それぞれ部数が記載されておりませんが、いずれも 1 部ずつで簡易製本という認識でよろしいでしょうか。 また、成果品の提出時期をご教示いただけますでしょうか。	(3)(4)(5)は電子データのみでの提出をお願いいたします。提出時期については、(3)は現地調査実施後、パイロット活動実施前、(4)(5)については、契約履行期間末日までの提出をお願いいたします。
6	その他 公開資料「学校給食プログラム、職域栄養・健康増進プログラム関連支援の訪欧性にかかる情報収集・確認調査」p.37	フィリピンへの日本型学校給食の導入に向けた案件化調査の結果は、「新型コロナに対する経済対策が優先になると考えられるため実現性が低い。」と考えられています。学校給食や食育が、今後も感染症対策で中座する可能性も考慮し、本件でのパイロット活動の食育は「遠隔教育」を配慮したオプションも必要になるでしょうか。	当該確認調査実施後、各国での新型コロナに関する状況や優先課題は変化していると考えています。パイロット活動実施の際は、実際の状況を鑑み、活動の内容を決定する予定です。基本的には「遠隔教育」でのオプションは考慮していませんが、現在の状況を踏まえオプションの選択が望ましい場合はご提案ください。

7	p. 14 第5条 (12)報告会の実施(国内作業)	本文には「活動最終報告会を現地で行う。」とされています。報告会の実施は国内作業ではなく、正しくは現地業務でしょうか。	活動最終報告会は国内での実施を予定しており、現地で行う旨の記載は誤りとなります。大変申し訳ございません。
8	p. 14 第5条 (13)マレーシア HCK ガイドライン作成支援(国内作業)	マレーシア国別研修「LEP2.0 給食ガイドライン開発」の開催期間(日数)、場所、研修員数をご教示いただけますでしょうか。	現時点で、開催期間は2週間程度、研修員は10名程度、場所は JICA 中部センター周辺を予定しております。
9	p. 14~15 第6条 報告書等	(1)業務計画書の作成言語は和文、提出時期は契約後 10 営業日以内という理解でよろしいでしょうか。	契約締結後 10 営業日以内の和文での提出をお願いいたします。
10	p. 14~15 第6条 報告書等	(2)インセプション・レポートの作成言語と提出時期をご教示いただけますでしょうか。	和文で、現地調査開始 2 週間前までの提出をお願いいたします。
11	ページ 13 (10)日本の教材を参考にした食育教材の作成(国内業務)	「教材はリーフレット(数ページ程度)を想定しており…」とありますが、より具体的なページ数の想定はありますか？2~5 ページ程度なのか、6~9 ページ程度なのか等。	最大 8 ページ程度を想定しています。
12	ページ 14 (12)報告会の実施(国内作業)	【活動最終報告会を現地で行う】とありますが、見出しは「国内作業」となっています。報告会は日本国内、現地のどちらで行う想定でしょうか。	活動最終報告会は国内での実施を予定しており、現地で行う旨の記載は誤りとなります。大変申し訳ございません。
13	ページ 14 マレーシア HCK ガイドライン作成支援	同研修に係る General Information の文書を共有いただくことは可能でしょうか。難しければ、参加予定者、人数、研修内容等について情報を共有いただければ幸いです。	GI、研修予定者、内容の詳細は未確定ですが、給食センター(Healthy Central Kitchen)ガイドライン策定のため、関連する日本の取組を紹介する内容となる予定です。

以上